

## 会 議 録

会議の名称	第6回吉川美南駅前公共施設整備検討委員会	
開催日時	令和4年3月29日(火)	午前10時00分から 午前11時00分まで
開催場所	吉川市役所 203会議室	
出席委員(者)氏名	藏田幸三、高田明充、小松弥生、金田桂子、高木淳	
欠席委員(者)氏名	石井亮英、楊西希、野尻一敏	
担当課職員職氏名	政策室長 浅水明彦 政策室調整官 野尻宗一 政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当副主幹 相川美佐子 政策室企画担当主任 平塚雅史 教育委員会事務局教育部生涯学習課課長 岩上勉	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 基本計画(案)のパブリックコメントについて 4 その他 5 閉会 [公開・非公開の別] 公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	0名	
会議資料の名称	資料1 基本計画(案)のパブリックコメントについて	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録確認指定者	高田明充副委員長、高木淳委員	
その他の必要事項		
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)		
委員長	<b>1 開会</b>  <b>2 あいさつ</b>  (藏田委員長よりあいさつ)	

	<p><b>3 議事</b></p> <p>議事録署名人を名簿順で高田副委員長と高木委員にお願いします。</p> <p>(異議なし)</p> <p><b>(1) 基本計画(案)のパブリックコメントについて</b></p> <p>(資料1に基づき説明)</p> <p>これまでの会議で発言してきた内容が今回パブリックコメントの意見として出されている。図書館等、直接本に触れる場所が無いため子ども達には必要だと発言したが、事務局からは、「今後は電子書籍も重要になってくる」との回答だった。場所や管理が必要であることは承知しているが、やはり紙媒体は必要である。人口が多い吉川美南駅周辺には本屋がなく、図書館も遠い。学校には図書室があるが、子どもの人数的に機会や利用時間は限られてしまう。そのような現状から、図書館など子どもたちが自由に出入りできる場所が欲しいという意見が出たのではないかと。</p> <p>宿泊施設についても以前話をしたが、吉川美南周辺は住宅地が多く、核家族が多い。親族が集まる場合、宿泊施設が無いと、多くの人を呼ぶ事ができない。そもそも吉川市自体に宿泊施設がない。そのような背景を踏まえ、以前の会議においても駅前に宿泊施設があると良いと発言したが、改めて意見をします。</p> <p>必須機能である情報メディアセンターの機能に、会議での意見を踏まえ「テーマを絞った蔵書」と記載し、紙媒体の図書も検討していく予定である。</p> <p>情報メディアセンターの規模については、中央公民館の図書室程度となるが、中央公民館の図書室は、予約システムや図書の貸出の工夫により、比較的用户数は多い。そのような工夫によって魅力を出すことができる規模であると考えている。</p> <p>電子書籍については研究段階であるが、その魅力を十分に発揮できるような取組みを検討し、紙媒体と電子書籍両方を楽しめるような施設を目指していきたい。</p> <p>宿泊施設については、民間事業者の採算性が重要となる。サウンディング調査の際には、前向きな意見もあったが、越谷サンシティ再整備計画等、近隣の動向も踏まえ採算性が保てるか心配しているという慎重な意見もあった。</p> <p>予約システム等については、前提としてパソコンや携帯電話を持っている大人の利用しか想定していないのではないかと。それらを持っていない子どもが大人に頼まないと利用できないというのは、利用の自由度が下がってしまう。子どもには本を読むという機会をもっと広げて欲しいと要望する。</p> <p>現在の中央公民館、おあしすの図書室は、「本を見に行く」という目的を持って行く場所である。蔵書の問題は別として、今回は駅前という立地であり、駅の利用者に「立ち寄って見ようか」と思ってもらえるような、入りやすい、利用しやすい施設を検討して欲しい。</p> <p>現在、おあしすの図書室という規模的にも大きな施設を保有しているため、同様の図書館を増やすよりも、現在の蔵書を十分に活用することを検</p>
委員長	
委員	
事務局	
委員	
事務局	
委員	
委員	
事務局	

	<p>討していくことも、持続可能という点においては必要であると考え。</p> <p>パソコン等を利用した予約の場合、子どもの利用に対する自由度が下がってしまうという問題については、最近は教育現場でもタブレットの利用が進んでいる。また、デジタル・デバイト対策などにより高齢者にも利用してもらえようとし、他の施設とは差別化を図った施設にしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>ライブラリーホテルにするという案はどうか。通常のライブラリーホテルではホテルが蔵書を保有していると思うが、吉川市では市の図書館と、ライブラリーホテルが連携することで、新たな形のライブラリーホテルが可能となる。導入機能で提示されている機能が、単体で存在するのではなく、それぞれがうまく連携する、連携させる仕組みを新しく作っていくことが重要である。単体として存在するのではなく、有機的に繋がっていく、そのための吉川美南駅の開発だとアピールした方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>各機能の連携融合が大切であるということを念頭に、詳細部分の検討をしていきたい。</p>
委員長	<p>今回のパブリックコメントは、いつ頃どのような形で提出されたのか。</p>
事務局	<p>期間の終盤にメールで提出いただいた。</p>
委員長	<p>今回のパブリックコメントについて、貴重なご意見ではあるが、2件のみであり、もう少し提出があっても良かった。広報含めポスターチラシを掲示したという事だが、もう一工夫することで、この事業自体をより多くの方々に知っていただく機会にもなるため、その点は引き続き努力をしていただきたい。</p> <p>現状、事業予定地は集客力のある場所ではないため、計画や事業を進めていく上で、特徴を出すことが重要である。今後の検討でアフターコロナ、ウィズコロナ、新しいライフスタイルを含めて、この時代だからこそできるチャレンジをし、吉川美南駅の立地の可能性を引き出した上で、事業化することが重要である。リスクを負ってでも取り組みたいという事業者が現れるような事業にするため、有機的に色々なものを繋げていくという発想が大切である。</p>
委員	<p>宿泊施設に関しては民間事業者の採算性等が重要であり、今話し合ってもどうしてもできない部分であるため、商業・業務ゾーン全体の開発の中で考えていく部分ではないか。</p> <p>図書室に関しては市民の意見であり、公共施設で対応できる部分であるため、蔵書を持つべき、電子書籍にするべき等、こうあるべきだと決めつけるのではなく、臨機応変に変えていくべきではないか。</p>
事務局	<p>宿泊施設については、民間事業者の提案次第ではあるが、今後行う事業予定地の北側敷地の公募において可能性がある。</p> <p>情報メディアセンターに関しては、既存の図書室と差別化を図りたいが課題も多い。一つ一つ課題を整理しながら魅力ある施設にしていきたいと考えている。</p>
委員長	<p>パブリックコメントについて他にご意見が無ければ以上とさせていただきます。全体を通して基本計画（案）にご意見等があればここで頂戴し、委員の方々の承認をいただきたい。</p>
委員	<p>別件で受けた報道機関からのインタビューで、吉川美南駅に劇場ができ</p>

	<p>ることについて、またそれに伴いホテルができるのではないかとといった質問を受けた。別件のインタビューでこのような質問が出るということは、メディアからも注目度が高いということが分かる。</p> <p>また、劇場や舞台の関係者からも、300 席は少なく 1000 席は多いが、700 席規模の劇場が駅前という立地にできると活用の幅が広がるのではないかという意見があった。おあしす・中央公民館がある状況で、さらに駅前に同規模の施設をもう一つ造るという計画で本当に良いのか。管理運営との兼ね合いがあることは承知しているが、50 年後も通用する施設となるのか、検討していただきたい。</p>
事務局	<p>ホール の 規 模 関 係 して は、 検 討 委 員 会 で 多 く 議 論 して いた だ いた。 我 々 も 300 席 規 模、 700 席 規 模、 1,000 席 規 模 と 比 較 検 討 した 結 果、 市 民 が 一 番 利 用 し や す い 規 模 と い う の が 300 席 規 模 だ と の 結 論 に 至 っ た。 300 席 規 模 で も、 動 画 配 信 な ど の デ ジ タ ル コ ン テ ン ツ の 活 用 等 に よ り、 お あ し す や 中 央 公 民 館 と は 違 っ た 魅 力 が 出 せ る の で は な い か と 考 え て い る。 た だ し、 民 間 事 業 者 側 が 300 席 を 超 え る 規 模 で の 運 営 が 可 能 だ と い う 意 見 が あ れ ば 積 極 的 に 検 討 し て い き た い。</p>
委員	<p>大 き な 劇 場 を 運 営 し て い く こ と 自 体 が 難 し い と い う こ と、 ま た 市 民 が 使 う 空 間 と い う 前 提 で 想 定 す れ ば 300 席 規 模 が 妥 当 と い う 意 見 は 分 かる。 し か し そ れ だ け の 設 備 を 揃 え る の で あ れ ば、 市 外 の 人 か ら も 「 憧 れ、 立 ち た い 劇 場 」 に な る 可 能 性 が あ る。 そ う い っ た 劇 場 に 育 て る こ と も 視 野 に 入 れ て、 再 度 検 討 し て い た だ き た い。</p>
委員	<p>劇 場 と ホ テ ル を 活 用 し た ま ち づ く り の 事 例 と し て、 豊 岡 市 の 江 原 河 畔 劇 場 が あ る。 演 劇 は、 公 演 期 間 以 外 に 稽 古 な ど も 含 め 長 期 滞 在 が 見 込 め る 上、 子 ども た ち へ の 演 技 指 導 等 の 地 域 交 流 の 実 施 や、 関 係 者 が レ ス ト ラ ン 等 の 周 辺 施 設 を 利 用 す る た め、 街 が 賑 わ う。 そ の よ う な 事 例 を 参 考 に、 単 なる ビ ジ ネ ス ホ テ ル で は な く、 ホール 利 用 者 の 長 期 滞 在 に も 活 用 で き る よ う な ホ テ ル に し て は ど う か。</p> <p>吉 川 市 に は 施 設 だ け で は な く、 食 文 化 等 文 化 資 源 が 多 い。 新 し い 施 設 を ど の よ う な 位 置 づ け に す る の か も 検 討 す る べ き で あ る。 そ の 検 討 に 学 校 で ワーク シ ョ ッ プ 等 を 開 催 し 子 ども た ち に 参 加 し て も ら え ば、 一 緒 に 両 親、 祖 父 母 も 加 わ る た め、 市 民 全 体 で 検 討 す る こ と が 可 能 で あ る。</p>
事務局	<p>ソ フ ト 面 に お け る 事 業 の 差 別 化 の ご 意 見 を 多 く い た だ き、 非 常 に 重 要 だ と 認 識 し て い る。 地 域 の 文 化 芸 術 を 盛 り 上 げ る た め、 今 回 の 施 設 だ け で は な く 既 存 施 設 も 含 め た 総 合 的 な 問 題 と し て、 今 後 の 詳 細 な 検 討 に 活 か し て い き た い。</p>
委員	<p>中 央 公 民 館 ・ お あ し す 等 で 発 表 会 を 開 催 し た 場 合、 市 外 か ら 観 に 来 て も ら う に は ア ク セ ス が 悪 か っ た が、 今 回 の ホール は ア ク セ ス の 面 だ け 見 て も 非 常 に 武 器 に な る。 私 自 身 も 文 化 連 盟 の 活 動 を し て お り、 「 大 き い ホール が 欲 し い 」 と い う 意 見 は 多 く 聞 く が、 市 内 で 使 い や す い 規 模 と、 市 外 か ら 人 を 呼 び 込 む 規 模 の バ ラ ン ス を と る の は 難 し い。</p> <p>新 し く 駅 前 に ホール を 作 る の で あ れ ば、 パ ブ リ ッ ク ビ ュー イ ン グ の よ う な デ ジ タ ル 技 術 を 駆 使 し ホール の 中 だ け で は な く、 ホール 外 で も 鑑 賞 で き る ス ペー ス を 併 設 す れ ば、 人 数 の 点 も フォロ ー で き る の で は な い か。 「 駅 を 利 用 し て 人 を 呼 べ る 」 と い う 利 点 に 特 化 し て 検 討 し た 方 が 良 い。</p>
委員	<p>一 年 間 こ の 基 本 計 画 ( 案 ) を 検 討 し て き て、 コ ン セ プ ト は ま と め ら れ た の で は な い か。 こ れ 以 上 大 き な 施 設、 色 々 な 施 設 を 誘 致 す る と い う の は 民 間 の 力 を 借 り な け れ ば な ら ず、 民 間 の 力 と な る と 採 算 の 部 分 が ど う し て も</p>

<p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>副委員長</p>	<p>出てきてしまう。ただし、民間活力にも限界があるため、この計画以上のものを誘致するのであれば、市として補助金、助成金等を検討する必要がある。仮に北側 4.4ha の敷地にマンションを整備し採算が合うとしても、それでは住宅だけの街が出来てしまう。市として「マンションのみではなく、このような施設を作ってもらえれば補助金や助成金が出せる」といった部分をコンセプトに入れた方が、より良い提案が出てくるのではないか。</p> <p>助成金等の活用可能性については未検討であるが、難しいのではないかとというのが率直な感想である。</p> <p>民間との連携で事業を進める際に、行政が出来る事はまちづくりの方針をしっかりと示すことである。</p> <p>単純に競争した場合、吉川美南駅は勝つ事が難しいため、差別化、特徴を出さなければならない。特定の関心・想いを持っている層に、覚悟を持ってアプローチしていくことが必要である。採算を取るためにマンションを整備するというのは、一見悪いことのように見えるが、どのような住民を呼び込むかによっては、また違ったマンションのあり方、駅前空間を作ることができる。公共空間の考え方として、道路、駅前広場、鉄道含め新しいまちづくりと見れば、非常に大きな可能性がある。委員会での意見、パブリックコメント等を踏まえ、検討を進めてもらいたい。</p> <p>コロナの終息が見え始めたが、コロナ以前に施設を整備し、採算が取れていない施設は多い。改めて検討するには、ある意味非常に良いタイミングである。今後 50 年 100 年吉川市が持続して行くための公共投資であり、民間投資を呼び込むような検討を進めてもらいたい。</p> <p>短期的に実現できない部分は多くあるが、それも中長期的に解決していく課題だと捉えれば、色々なチャンスが見えてくるのではないか。今後の検討に活かしていただきたい。</p> <p>他に基本計画（案）についてのご意見等が無ければ、内容を妥当とし承認いただきたい。よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>今後の予定としてはこれまでの検討を踏まえ、より詳細な内容の要求水準書を作成する。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p>(高田副委員長よりご挨拶)</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 4 年 4 月 26 日</p> <p>署名委員 高田 明充 (自署)      署名委員 高木 淳 (自署)</p>	